

航空保安システム整備部会の審議対象外であるコメントに対する回答

要望・意見等	回答
<p>4. テロ対策を含む危機管理について</p> <p>(1) ワールドサッカーでは警乗によるテロ対策を実施したが、派生して起こりうる事態について運航者側とりわけ現場のパイロットと十分なすり合わせも不足したままとなっており今後の課題であると考え。加えて空港での警備員は民間の会社からの派遣警備員であり、信頼性の面で不安が残る。米国のように連邦職員とすることについて検討を願いたい。 (日本航空機操縦士協会)</p>	<p>W杯サッカー大会開催に伴う警乗については、航空会社、警察庁、航空局において、運航の安全面も含め、十分に検討の上、実施したものである。今後においても、必要があれば、W杯時の経験を踏まえ、航空会社、警察庁、航空局において、適切に対処したいと考えるが、現場のパイロットにおかれては、航空会社と協議していただきたいと考える。</p> <p>また、検査員については、各検査場への有資格者の配置の促進、検査員に対する教育・訓練に係る体制・内容の見直し等を指示することにより資質の向上・維持を図っているところであり、今後も引き続き信頼性の確保に努めて参りたい。</p>